

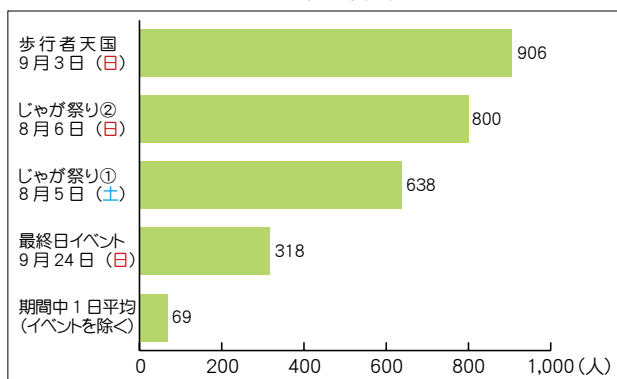
昨年 7 月 29 日～ 9 月 24 日

賑わい拠点の可能性と課題を検証



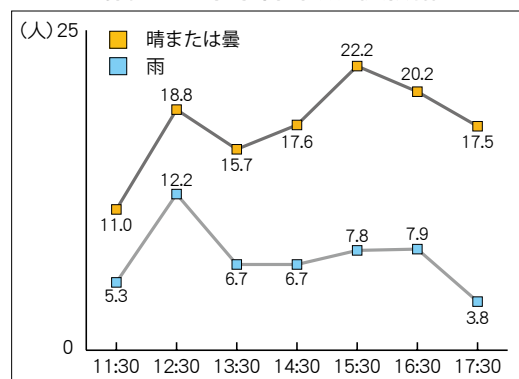
昨年のまちなか広場では、ゆったりとした時間を過ごせる「広場機能」、家族で食事できる「食機能」、天候に左右されず楽しめる「遊び場機能」、手仕事作品の発表・販売ができる「マーケット機能」について仮設の施設を整備することで利用需要がどの程度見込めるか効果を測定し、本格整備に向けた可能性と課題を明らかにするために①来場者・滞在者数調査②来場者ヒアリング調査③パネル展アンケート調査④出店テナント売上調査⑤イベント出展状況調査⑥歩行者通行量調査⑦実行委員会委員への意見収集の 7 項目を調査しました。

イベント時の滞在者数



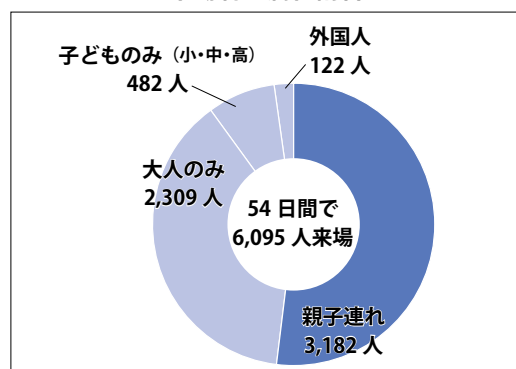
イベント開催による集客効果はあるものの、費用や人材の不足などから、大きなイベントを継続して開催することは困難であることが課題として残りました。

時間ごとの平均滞在者数 (天候別)



晴・曇の日に比べて雨の日の来場者数が大幅に減少しています。子育て世代からは、天候に左右されない遊び場を求める声が多く聞かれました。

来場者の属性割合



大型テントに畳を敷いたキッズスペースと飲食スペースが子育て世代に好評でした。一方でより幅広い世代の利用に向けた工夫が課題となっています。



賑わいづくりのメインターゲットは子育て世代 今後はより幅広い世代の交流を

その他の調査からもまちなか広場により周辺の歩行者数が増えることなどがわかりました。中心市街地から広がる賑わいづくりのメインターゲットは町内の子育て世代であり、「遊び場機能」やゆったりとした時間を過ごせる「広場機能」が求められていることが明らかになった一方で、今後は子育て世代に限らない交流の場をつくることが課題となっています。

みんなでつくるまちの賑わい

まちなか広場

倶知安町は現在、スキーリゾートの発展により国内外から人が集まり、投資も活発になっています。その効果はリゾート地区だけではなく市街地にも及んでおり、若年経営者の飲食店を中心に出店が増えてきています。昨年 7 月から 9 月、倶知安商工会議所は駅前通り沿い北 1 条西 2 丁目の区画を「まちなか広場」と名付け、中心市街地の賑わい拠点整備へ向けた実証実験を行いました。

今月号の特集では、その実験の目的と昨年の結果、併せて今年のまちなか広場を紹介します。

中心市街地の整備に向けて 賑わいを創り出すための実証実験

まちなか広場プロジェクト実行委員会

実行委員長 **本田 哲 さん**



私は倶知安町で生まれ育ちましたが、昭和 52 年頃からはこの町を離れていました。帰って来た平成 15 年頃、商店の多くはシャッターが閉まり、スキー客や駅前通りを歩く人は少なく、町全体が疲弊しているように感じました。しかし、近年はニセコの山に魅せられた若い世代の移住者が飲食店などを経営することで町を盛り上げてくれるとともに、海外からの投資が増え、人と経済は地域において循環しつつあります。

倶知安町は今、北海道新幹線の札幌延伸や高速道路の開通、札幌冬季五輪などを控えた大事な時期を迎えています。時代の変化とともに住民のライフスタイルや中心市街地のあり方も変わりつつありますが、私たちが楽しみながらこの町で長く暮らしていくためには、今の町に足りない機能や空間を整備する必要があります。

私は倶知安町で生まれ育ちましたが、昭和 52 年頃からはこの町を離れていました。帰って来た平成 15 年頃、商店の多くはシャッターが閉まり、スキー客や駅前通りを歩く人は少なく、町全体が疲弊しているように感じました。しかし、近年はニセコの山に魅せられた若い世代の移住者が飲食店などを経営することで町を盛り上げてくれるとともに、海外からの投資が増え、人と経済は地域において循環しつつあります。

まちなか広場プロジェクトは、中心市街地に必要な機能を検証するとともに、そこから広がる賑わいの可能性とその課題を明らかにするために実施するもので、町の未来に繋がる実証実験です。その 1 年目となった昨年は、町内に多くいる子育て世代とその子どもたちをメインターゲットとして実施し、さまざまな調査を行うことでそれらが少しずつ明らかになってきました。2 回目となった今年は、昨年のターゲットに加え、小中学生やビジネスマン、またお年寄りの方など、より幅広い世代が集い、くつろげる空間をつくり、検証します。このプロジェクトを進めるにあたり、今年は、官民の連携をさらに強めるべく、実行委員会メンバーに役場の若手職員を新たに加えました。まちなか広場プロジェクトは、まちづくりとしての役割だけではなく、それに携わる人づくりの取り組みでもあるのです。



- ① 昨年の課題の一つだった雨天時の対策として会場中央には大型テントが設けられました。
- ② 昨年好評だったボルダリングコーナーがより本格的になり、安全面にも配慮しました。
- ③ 開設時間を20時までにしたことで日中來られない住民にもこの空間を利用した交流の機会が広がります。(日曜・祝日は19時まで)

- ④ 会場入口に置かれた黒板にはその日行われるイベントや出店者などについて書かれています。
- ⑤ オープニングを飾ったのは、Mt. Youtei Jr. JAZZ SCHOOLの皆さん。挨拶の中でメンバーの條々倫くんはまちなか広場について「僕たちの町に新しい遊び場ができて嬉しい」と話していました。



人が集まる核となる空間から 町全体に賑わいが広がれば

倶知安商工会議所
会 頭 阿 部 和 則 さん

この町の中心市街地を、人や車がただ通り過ぎるだけの「素通り商店街」としないために、中心市街地に核となる賑わい拠点を整備し、他にも人が集まる空間がいくつかあることで、点と点が繋がり、線になってその賑わいが町全体に広がっていくのだと思います。そうすることで、駅前通りをはじめとする中心市街地はかつての倶知安のように元氣を取り戻すのではないのでしょうか。

2030年度末の北海道新幹線札幌延伸前に倶知安商工会議所では、まちづくり先進地の視察などを通して、駅周辺のあり方について一定の方向性を定めました。そして昨年のまちなか広場プロジェクト実証実験を経て、それにより具体的になってきました。今後は、倶知安商工会議所が所有する駅前通りの土地の活用方法についてさらなる検討を進めます。

まちなか広場プロジェクトを主催する倶知安商工会議所の阿部和則会頭にお話をうかがいました。



1日限定！まちなか広場 in 世代交流センター

実行委員会では、5月26日(土)に1日限定のまちなか広場を世代交流センターで開催しました。この日は、子育て世代をターゲットにした「1day shop COTUCOTU」に加え、これまで実行委員会で話し合われてきた「100人アイデア会議」を実施しました。

この会議は「みんなでつくろう！まちなか広場」をテーマに約40名の参加者が8つのグループに分かれ、まちなか広場で「やりたいこと」や「あったらいいなこと」を自由な発想で出し合い、選んだイベントの企画についてプレゼンテーションを行い、全員がそれぞれの企画に対し投票をしました。

本田実行委員長は「実現可能なアイデアの中で採用となったものについては、できる限り実施する。そして発案したグループはぜひその運営にも携わってほしい」と話しており、この中で得票数の多かった「映画上映会」「グッドモーニングランニング」「まちなか広場で海外旅行」などの企画は実際に期間中実施されることとなります。



イベントの開催情報などは、Facebookでもお知らせしています。
 倶知安商工会議所（まちなか広場プロジェクト実行委員会）
 ☎ 22-1108

8月5日(日)までの51日間 今年のまちなか広場がオープン

6月16日(土)、今年のまちなか広場がオープンしました。この日は、子どもから大人まで約400名が来場し、早速大きな賑わいを見せていました。今年は、前回の検証結果を踏まえた上で、開催時期を早め、飲食ブースは夕方以降も営業するなど工夫を凝らし、より具体的な効果を測定します。

まちなか広場プロジェクト実行委員会



町内で暮らし働く10名により構成されるまちなか広場プロジェクト実行委員会は、事務局を商工会議所内に置き、この実証実験の企画・運営を担っています。具体的な内容については実行委員会内に設けられた広報・出店者・イベントの3部会により検討されてきました。

昨年の実証実験の結果として、週末などのイベント開催による入場者の増加の一方で、人材不足による大きなイベントの継続開催の難しさが課題となっていました。実行委員会ではその解決のため、そしてこれまでまちづくりに携わる機会の少なかった人たちに参加してもらうことで新たなファン・プレイヤーを増やし、面白いアイデアを発掘するための企画として「100人アイデア会議」を開催することとしました。

他にも、さまざまな課題の解決に向けた話し合いが重ねられています。

f <くっちゃんまちなか広場> 検索

